

学校・地域連携カリキュラムによるキャリア教育活動

岩国市立由宇小学校

1 はじめに

本校は、地域連携教育と小中一貫教育を推進する上で、中学校区で地域協育ネットの活用を軸にした学校・地域連携カリキュラムを作成し、地域の教育資源（ひと・もの・こと）を最大限に活用することで児童の知・徳・体のバランスのとれた成長を図っている。特にキャリア教育の推進に当たっては、他者とのつながりや様々な体験の中で、夢や目標をもたせ、達成に向けて努力させ、成果を実感させることを通して成就感や達成感を与え、自信をもたせていくようにカリキュラム・マネジメントをしている。そこでつながる他者に関しては、地域で活躍する人材や児童に本物の素晴らしさを体感させてくれる人材を選び、児童に感動体験を与えてもらってきた。

今年度は、12月に広島東洋カープの選手2名による講話と全校児童との交流会、1月に異業種の職業人による職業講話を実施した。

2 広島東洋カープの選手による講話

毎年恒例となっている広島東洋カープの選手との交流は、昨年度オンライン交流だったが、今年度は2名の選手の来校があり、児童にとってもあこがれのプロ野球選手を目の前で見ることができ、大変貴重な時間となった。交流会の実施について、高学年の児童から実行委員を募り、来校が決定してからの短い時間の中で、子ども達の精一杯の思いを実現する取組を子ども達の手でスタートさせた。ある児童はインターネットで選手紹介のための資料を探してまとめ、別の児童はパワーポイントでスライドを作成した。また、各学級に応援メッセージを依頼しに行き、心のこもったプレゼントを作成した。子ども達の意見を出し合い、行動に移し、一人ひとりが当日役割を担い、短い準備期間ではあったが、最後に「やり遂げた。」「選手が喜んでくれた。」「思い描いた交流会ができた。」と思える結果につながった。



広島東洋カープの選手から学んだ夢や希望を持つことの大切さや、夢の実現へのアドバイスの他に、実行委員になった高学年の児童18名にとっても自己肯定感や達成感、奉仕の精神など、多くのことを学ぶことができた。そして、全校児童へ高学年の姿として大きな影響を与える機会となった。最後に広島東洋カープの選手2名と実行委員の児童との記念写真は、素晴らしい1枚となった。

3 異業種の職業人による職業講話

キャリア教育の一環として、様々な職業で活躍しているプロフェッショナルの方々から直接話を聞き、自分の将来に向けて夢や目標をもつとともに自分を育て支えてくれるふるさと由宇を愛する心を育むことをねらいとし職業講話を実施した。

今年度は由宇町内外で活躍されている8つの事業所に来校していただき、仕事内容だけでなく、今特に頑張っていることや苦勞したこととその克服方法、そして、講師の方々が考える「プロフェッショナルとは」という仕事に対する考え方もご講話いただいた。

〈児童の感想〉

- ・自分の好きだと思ったことをやり続けることが大切だと分かった。
- ・人の役に立つことは、やりがいがあって楽しい。
- ・人とコミュニケーションをとりながら指示がなくても考えて行動していきたい。
- ・プロとは、責任をもち相手に思いやりがもてる仕事をする事だという言葉が印象に残った。
- ・お互いの個性を認め合い、友達と関わっていきたい。
- ・早く自分の夢を見つけて、早く自分の夢へスタートを切りたい。
- ・自分も何事にもベストを尽くせるような人になりたい。
- ・苦勞してきたことや経験したことに自信や誇りをもって仕事をしている人だと分かった。



プロフェッショナルの生の声を聞くことによって、働くことの大切さについて考えることができた。また、今後の自分自身の生き方について考える良い機会にもなった。

最後に、講師の方々から「いろいろな経験を通して自分のやりたいことを見つけてほしい。」とメッセージをいただいた。由宇町の身近なプロフェッショナルが、自分たちを応援してくれていることを実感した。

4 終わりに

今年度もコロナ禍ではあったが、教育活動を工夫しながら行うことができた。これまでの「縁」を切ることなく、次年度につなげることができたと思っている。また、知恵を絞り考え続けることがなにより大切であることを子どもたち自身感じることもできたのではないだろうか。今後も新たな可能性を信じ、希望を持ち、今できることを懸命に行っていきたい。

最後に、このような活動ができたのも山口県教育会の助成があったからである。大変感謝している。